

すきかげ
「透影」

絹本着色 170×215 cm



「透影」は「とうえい」と読みますが、古典の世界では「すきかげ」といいます。薄い布を通して見える姿や形のこと。また物の隙間、例えば簾越しに見える人物や物の影・形などを表現するときに使うようです。水辺に映り込んだ、カラマツ林の樹影の向こう側に見える水底の世界(葉の姿・形)を「透影」に見立てて表現しようと取り組みました。